

◆「さつま町」来年3月22日誕生 ～官報告示 県内で3番目～

11月12日、総務省は官報で薩摩東部地区3町の新設合併による「さつま町」の設置を告示しました。この告示をもって法的な合併手続きは終わり、合併の効力が発生しました。現在3町では、平成17年3月22日の「さつま町」誕生に向けた本格的な準備作業を進めています。

また、総務省の告示がなされたことから、11月15日3町では庁舎玄関前にカウントダウン表示板を設置しました。



設置された表示板

◆「さつま町」の町章決定

11月15日、宮之城ひまわり館で開催された第17回薩摩東部地区合併協議会で、新町町章候補5作品の中から、東京都在住の「小池もとお」さんの作品が新町「さつま町」の町章に決定しました。

この作品は、さつま町のイニシャル「さ」をモチーフに、町の緑豊かな自然と環境・歴史をイメージし、町民のいきいき活力あふれる姿と合併を機に更なる飛躍・発展をデザインされており、円は太陽と団結を力強くシンボライズされています。



町章決定



千成取締役から町長へ記念品贈呈

記念品贈呈

11月19日、50周年を迎えた本町に対し、日本特殊陶業株式会社から記念品の贈呈がありました。

千成取締役から、翼を大きく広げ、羽ばたいている躍動感あふれる「はやぶさ」の置物が町長に手渡され、その後、町長が「合併により新しい町に生まれ変わり、飛躍しようとしている本町にとって、まさにふさわしい贈り物です。」とお礼を述べました。

また、宮之城工場操業30周年記念ゴルフコンペで、チャリティ義援金11万円が集まり、新潟中越地震被災者に送られました。

百歳おめでとう

11月15日、上畝サヤさん（大畝町公民会）が百歳になりました。

上畝さんは、若い頃に一生懸命頑張って働いたことが、長生きできた理由だそうです。

現在は、寝たきりですが、テレビを見たり、お経を唱えたりして一日を過ごしておられます。

なお、町内で百歳以上の方は7人おられます。



町長と会話をされる上畝さん